

陳情第 7 号



霧島市議会議長
阿多 己清 殿

2020年11月18日

陳情団体 霧島市社会保障推進協議会
霧島市国分中央3丁目38-14
会長 原口 兼明

霧島市の国保税引き下げを求める陳情書

陳情の趣旨

コロナ感染症は、第3波に入ったと言われ、連日、多くの感染者が確認されています。このような中で、飲食業や観光事業者などの経営が厳しくなり、2020年9月末の失業者は、206万人（総務省労働力調査）にのぼるとの報告があります。また、コロナウイルスへの感染の恐れから医療機関への受診者は減少し、今年5月の前年同月比で見ると79.8%（医科、歯科、調剤）へと減少しています。

霧島市の国保に加入する被保険者の実態は、所得100万円未満の方が被保険者の約70%を占め、また、被保険者の88%が年金生活者や非正規で働く方で占められています。国民健康保険は、国民皆保険制度を支える最後の医療保険ですが、その負担は重く、保険税を滞納すれば期間を限って発行する短期保険証や、受診の時に治療費全額を窓口で支払う資格証明書が発行されています。その結果、全国だけでなく霧島市でも受診控えによる死亡事例が発生しています。

コロナ禍の中、医療費の総額は抑制されるとともに、財政的にも基金残高が増え余裕が出てくるのが予想されます。現状の保険税負担が続くと、市民生活を直撃し必要な医療が受けられない市民を新たに生み出すこととなります。

このような状況を回避するために、国保税の負担軽減を求めます。

陳情事項

1. 2021年度の霧島市の国民健康保険税引き下げを実施すること。